

実施学年	3年	実施教科 (科目)	社会【公民】	実施日	H24. 11. 19
単元名	わたしたちの暮らしと経済				
本時の内容 (項目)	1節 暮らしと経済【コンビニエンスストアの経営者になろう】				
本時の目標	コンビニエンスストアを開店させる場所を考えることを通して、経済活動についての学習意欲を高め、経済活動を行う上で重要な要素を理解することができる。				
授業場所	普通教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・ 展開 ・まとめ・他()		ICTの主な 活用者	教師 ・生徒	
活用するICT 機器	電子黒板				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗展開の候補地の条件を短時間に説明することができ、思考・判断・表現の時間を多く確保することができる。 ・各候補地を拡大することが可能で、生徒が説明する際に視覚的にわかりやすく説明することができる。 ・各候補地の条件を短時間で説明することが可能で、生徒の思考・発表・意見交換する時間を十分に確保できる。 				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を活用し、候補地を拡大し、コンビニエンスストアの候補地を説明する活動。 				
利用するコンテンツ名・サイト等	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい社会【公民】 p 106～107のデジタルデータ 				
参考にしたサイト・文献等	<ul style="list-style-type: none"> ・セブンイレブンジャパン「コンビニ出店」のホームページ http://www.sej.co.jp/sej_case/ 				
事前の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p 106～107をデジタルデータ化する ・セブンイレブンジャパンの店舗事例をもとに、生徒が課題追究時にヒントとなるような資料を作る。 				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<p>1, 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>コンビニエンスストアの経営者になって店舗の候補地を考えよう。</p> </div> <p>2, 課題について自分なりの考えをもつ。</p> <p>(1) 自分なりの考えを持つ ○は利点、●は欠点</p> <p>A○駅を利用する人が多く立ち寄る ●スーパーマーケットがありお客が少なくなる</p> <p>B○マンションの下で、家に帰るついでに寄ってくれる。 ●駐車場がなく、車の客がない</p> <p>C○病院が近く、利用者が使ってくれそう。 ●買い物や通勤通学の人が通り過ぎる可能性がある。</p> <p>D○隣がガソリンスタンドなので給油のついでにお客が来てくれる。 ●デパートとレストランが隣にあり、食料も日用品も売れない。</p> <p>E○ホテル、水族館、公園があり、宿泊客や観光客が来てくれる。 ●季節によりお客の数が減る。</p> <p>(2) 互いの考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人通りが多い事や、競合店が少ないことが候補地を選ぶうえで大切なかもしれない。 <p>3, 学習したことをまとめる</p> <p>身近なコンビニエンスストアのことで興味を持つことができた。実際の店も様々な条件を考えて作られていると思う。仲間の意見も条件をよく考えていて、これからの学習に活かしたい。</p>	<p>(※情報モラルの指導内容)</p> <p>※電子黒板の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ自分が考えた内容を電子黒板を利用して説明する。
<p>ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい消費生活は自ら消費者主権を守ることで成り立つ」と、とらえる力を養うようにする。 ・今日の経済活動に関する諸問題に着目し、個人や企業の経済活動について考えさせる。 	<p>評価基準</p> <p>B：学習課題に関心をもち、意欲的に資料を読み取り開店に有利な条件を追究している。</p> <p>【ノート・発言内容】【関心意欲】</p> <p>A：意欲的に資料を読み取り開店に有利な条件を追究し、仲間の意見との比較ができています。</p> <p>【ノート・発言内容】【関心意欲】</p>
<p>ICT を活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は数学の授業において電首位黒板に出された資料を拡大する方法を知っている。その方法を活用してコンビニエンスストアの候補地を拡大し、その土地の利点と欠点を説明できるため、説明を聞く生徒は視覚的に共通理解を図ることができ、さらに仲間の考えを付け足して、自分の考えを発表する姿が見られた。 	
<p>ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図という視覚に訴える資料を利用することで、根拠のある発言をする生徒が多く見られた。 ・電子黒板を利用した場合、地図から読み取れる情報を示しながら、生徒が説明できるため、聞く側の生徒にとってもわかりやすいものになった。 	

今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・今回は1つの資料を電子黒板に映し出し、説明をするだけであったが、今後は電子黒板やタブレットパソコンを利用して、複数の資料をICTを活用して説明できるように授業展開を考えたい。・液晶パネルの反応が悪いときがあり、説明の時にスムーズにペン書きができなく、操作がうまくできないことがあった。
-------	--

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。